

【巻頭言】

SNS による交流(忙中閑話)

京都医療科学大学 学友会副会長 藤田 透(45 回生)

「SNS って、何？」という方も、「フェイスブック」とか「ツイッター」と聞くと分かるのではないのでしょうか。ソーシャル・ネットワークワーキング・サービスの略称で、インターネット上で友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といった繋がりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供するサービスとのことです。国内のネットユーザーは 2012 年末で 9,556 万人(人口普及率 79.5%)ということで、このうちの SNS 利用者が 52%の 4,965 万人になったということです。学友会の皆さんも何らかの SNS を利用されている方が半数以上おられることとなります。SNS の中でも利用率が高かったのは、フェイスブック 34%、LINE27%、ツイッター 26%、mixi22%、スカイプ 16%、……となっているそうです。スマートフォンの利用者では、電話も無料で使える LINE の利用者が最も多いということです。

私も 2 年前からフェイスブック(以下:FB)を利用し始めました。職場の人から勧められて始めたのですが、その日のうちにタイに留学中の姪を「知り合いでは？」と紹介されてきて驚きました。FB では、自分の個人情報(生年月日、出身地、現住所、卒業校、就職先、趣味等々)を任意で登録するのですが、この登録情報によって共通点のある人が紹介されてきます。繋がりたいければ友達申し込みをして輪を広げていきます。自分の書き込みを公開する範囲も制限できるようになっていて、範囲を広くするほど友達の輪が広がり、世界中の人と繋がることもできます。個人情報を公開することによって種々の弊害も生じるようですが、私の場合(友達の友達まで公開)は大きな問題はありませんでした。あまり多くの友達を作るとフォローが大変なので、私の場合は自分から友達申し込みをしないこととして利用していますが、今では 78 名の友達ができました(自分から申し込んだ友達はこのうち 10 名余りで、残りは私が登録した情報で繋がった人からの申し込みをいただいたこととなります)。

京都放射線技術専門学校を卒業校に登録していますので学友会の先輩、同級生、後輩とも 10 数名と繋がっており、日々情報交換ができています。ずっと連絡が取れていなかった友人、息子の嫁、友達の友達とも交流できる楽しみがあります(若い女性等、知らない人からの友達申し込みもたまにあります。これは承認しないようにしています)。メールアドレスを知らなくても、公開せずに個々に交信することもでき、便利なツールということになります。

私が書き込むのは、新聞やテレビから得たニュースや情報、旅行先での写真、京都の行事、等々の些細な出来事で、それを読んだ人から感想等が寄せられます。FB 友達の中には、友達の友達ということで一度も会ったことがない人もいますが、各地の四季が伝えられ、原発事故や時事問題についての思いも知ることができます。友達にならなくても安倍首相等の著名人の日々の書き込みも読むことができ、報道では取り上げられていない行動も知ることができます。

2 年間の FB 交流では心を動かされることも多々ありました。最近、瀬戸内寂聴さんの「寂聴あおぞら説法」を紹介され、共感した一節です。

蓮如聖人(浄土真宗の中興の祖)のお言葉に、「仏教は無我にて候」があるという。

欲望の全ては、自我から生まれる

自分が愛されないと苦しむ

自分が認められないと口惜しがる

自分が裏切られると人を怨む

自分より優れているものを妬む

自分という我に固執することから苦しみである

我を捨てて仏に任せてしまえというのが仏教

仕事があること、できることはありがたい

仕事をさせていただく、自分にふさわしい、あるいは、

自分にできる仕事をさせていただいて、それが人に役立つ

そういうことが生きがいというもの

「忙中閑話」、まだ SNS を利用されていない学友の皆さん、狭い範囲からでも始めてみてはいかがでしょうか。

以上